

臓器移植に関する意識調査

(グリーンリボンアンケート調査)

この度、県民を対象に臓器移植に関する意識調査を実施しました。

調査概要

調査目的：臓器移植に関する県民の意識を把握し、今後の普及啓発事業の参考とする

調査対象：県内在住の15～70歳までの男女500名

調査時期：令和7年8月15日（金）～8月16日（土）

調査方法：インターネット調査



広げよう、
臓器移植普及の輪を！

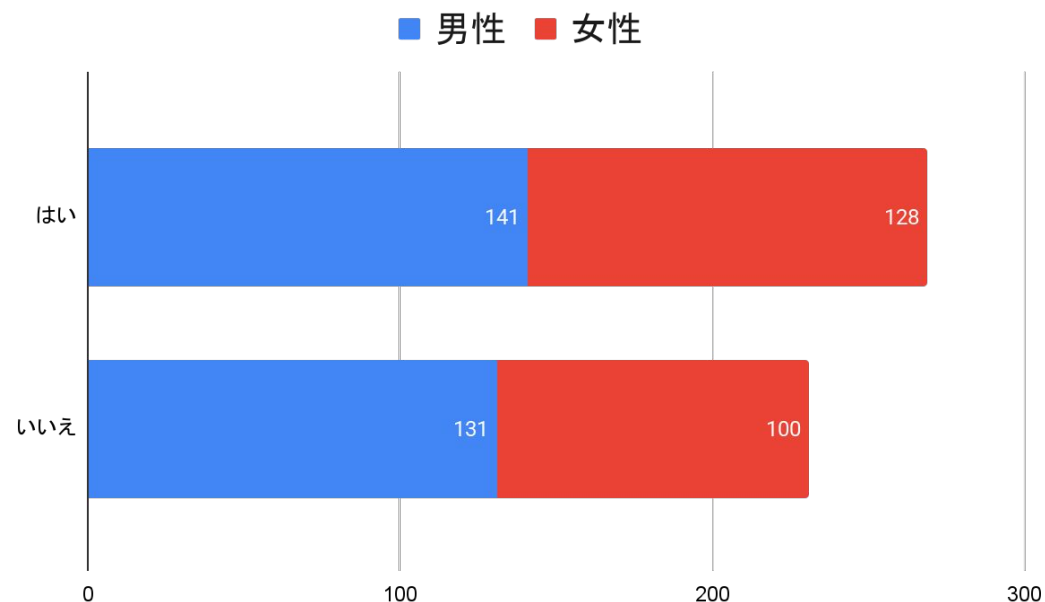
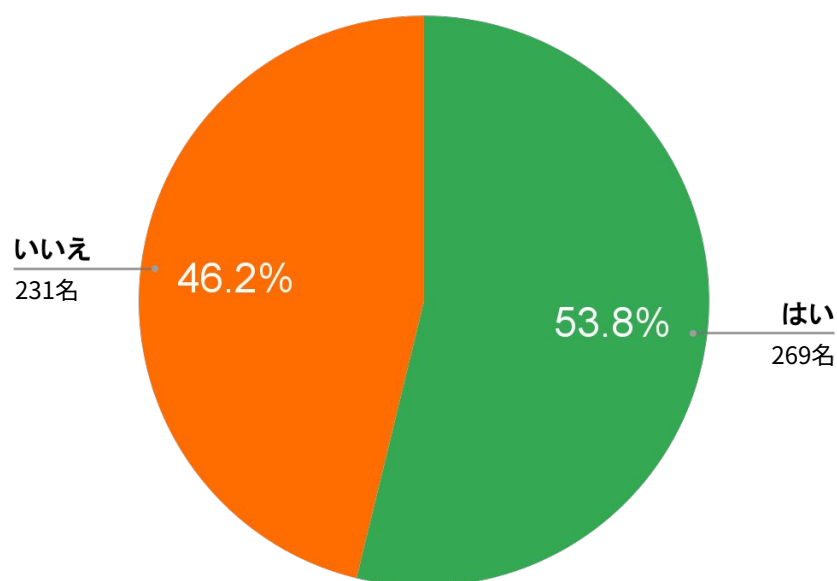
グリーンリボン
おきなわ

アンケートデータサマリー

- 今回行った沖縄県内アンケート結果では沖縄県内で「臓器移植」に関心があると回答した人は53.8%。内閣府が令和7年9月に公表した「臓器移植医療に関する世論調査（速報）」では、「関心がある62.3%：関心がない35.4%：無回答2.3%／n=1,391」となっており、全国と比較して8.5%低い結果になっている。
- 臓器移植についてはテレビやSNS、インターネットを通じて知る機会が多く、交通広告（バスやタクシー等）・イベント（シンポジウム）などで知る機会も増えている。
- 意思表示をしたきっかけは、保険証や免許の更新時であることは前回の調査結果と変わらず顕著である。
- 臓器移植について意思表示が出来ること知っている人は449名で9割の方が知っているのに対して、臓器提供をする・しないといった意思を記入している人は、500名中150名と3割と少ない。
- 臓器提供については、自分が提供する場合と、家族が提供する場合で考え方が変わる様子が見られる。
- さらに、臓器提供の意思をあらかじめ示しているかどうかによっても、答え方が変わる様子が見られる。

問1 | 臓器移植について関心がありますか？

(単一回答／n=500)



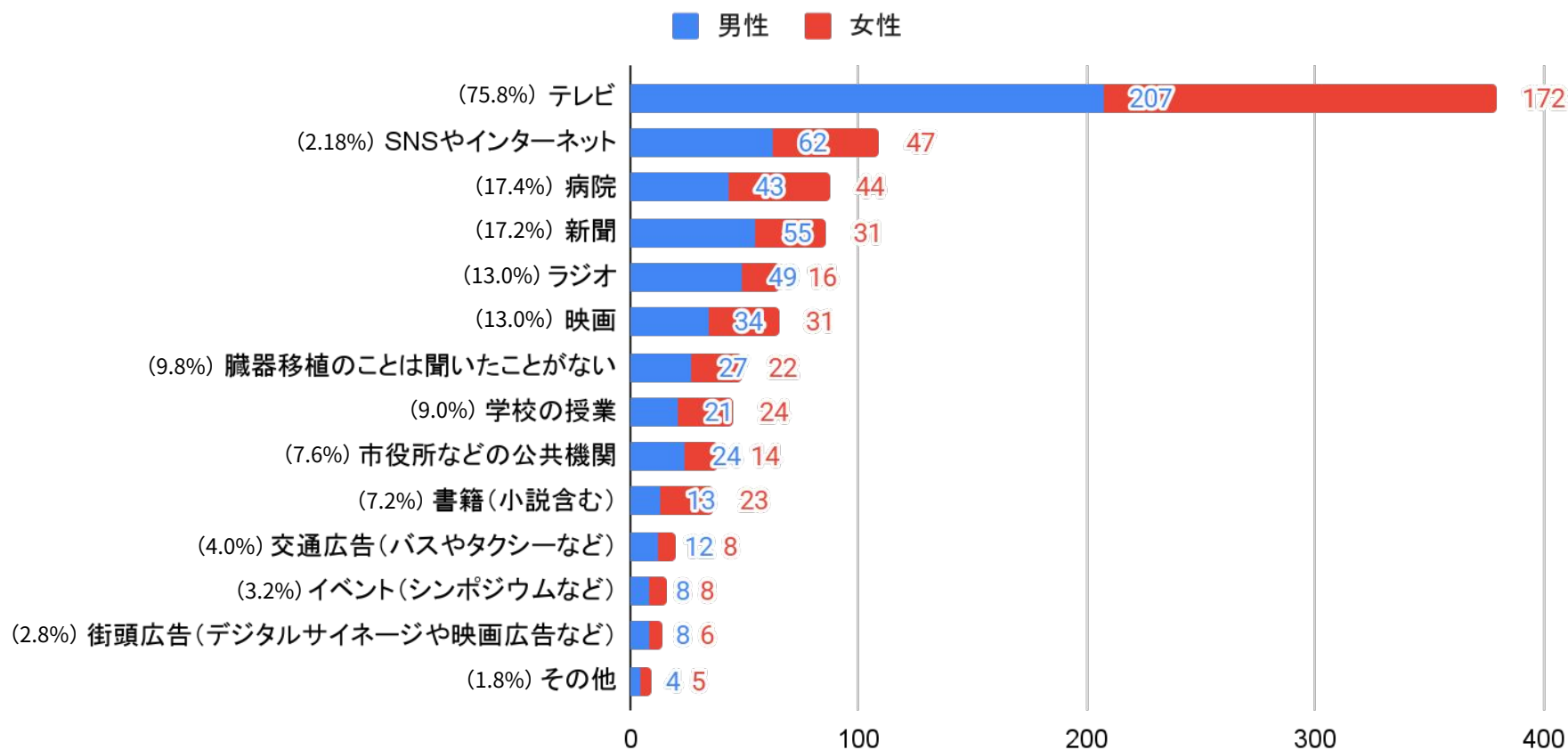
参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

該当者	はい	いいえ
312名	62.8%	37.2%

- 内閣府が令和7年9月に公表した「移植医療に関する世論調査」（速報）の内容（関心がある62.3%：関心がない35.4%：無回答2.3%／n=1,391）と比較すると、関心があると回答した人の割合が8.5%低い結果に。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、「はい」と答えた割合が62.8%→53.8%に減少。

問2 | 臓器移植のことを何で知りましたか？

(複数回答／n=500)



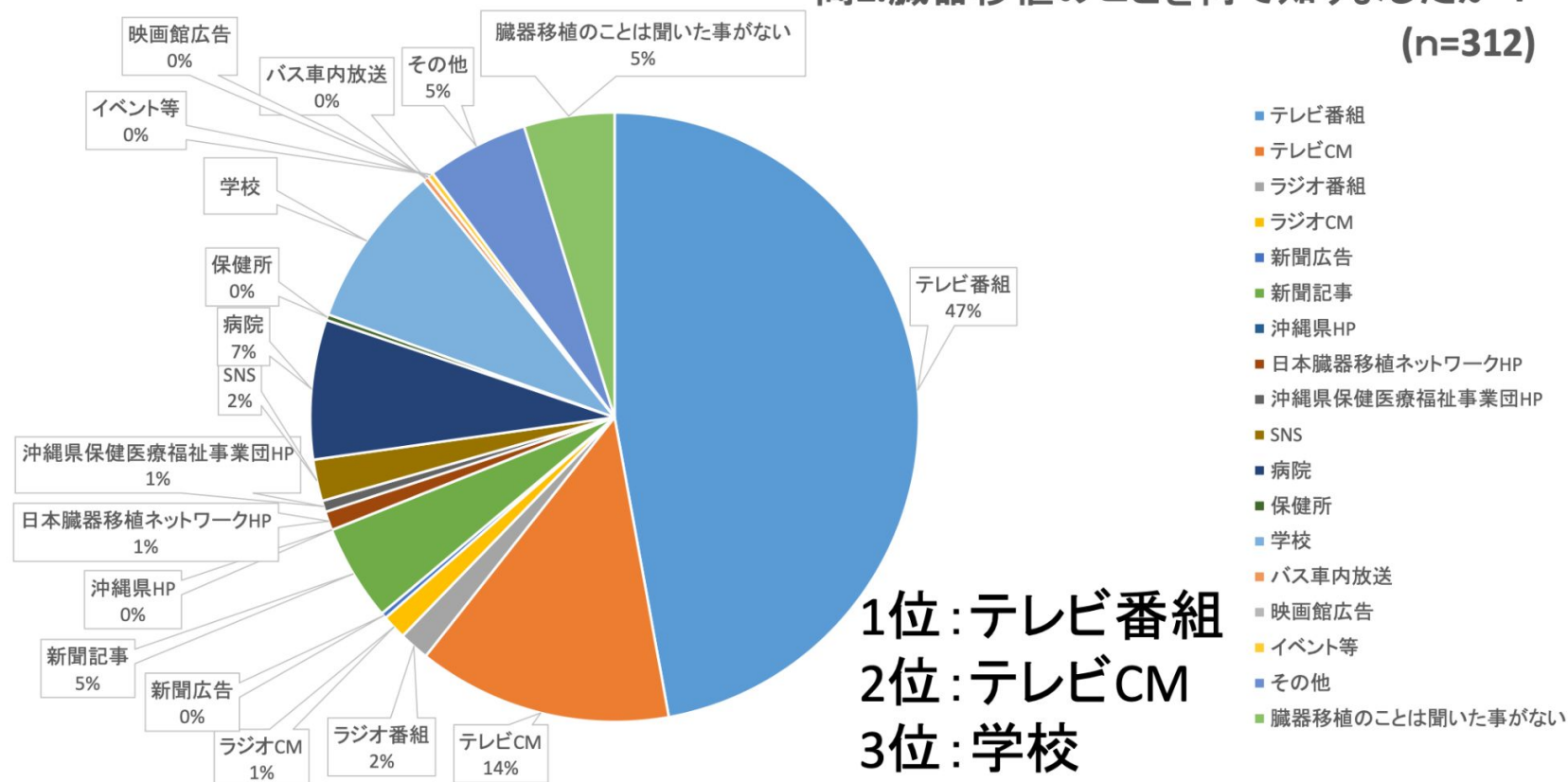
- テレビが男女ともに回答数が多い結果に。次点で、SNSやインターネット、病院、新聞と続く。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、「SNSやインターネット」が上位に。また、イベントや交通広告も増加しており、知ってもらうきっかけになっている。

問2 | 令和2年度 調査報告 比較

(n=312)

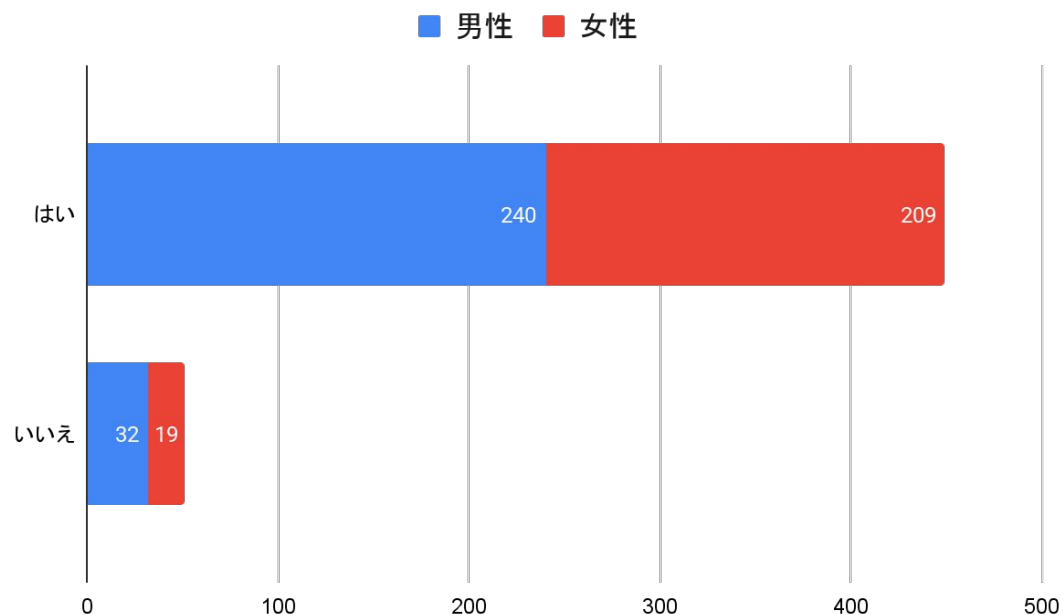
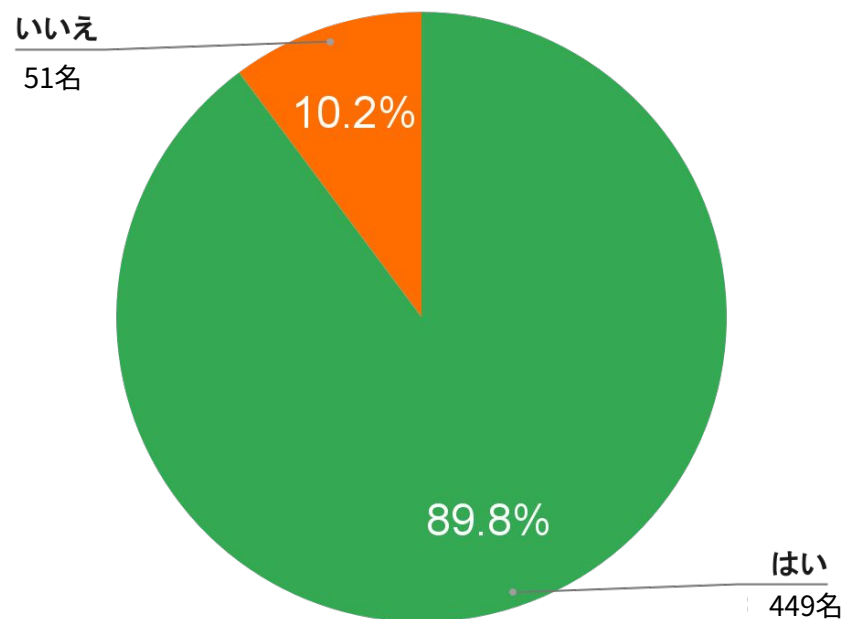
参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

問2.臓器移植のことを何で知りましたか？ (n=312)



問3 | 臓器提供について意思表示ができることを知っていますか？

(単一回答／n=500)



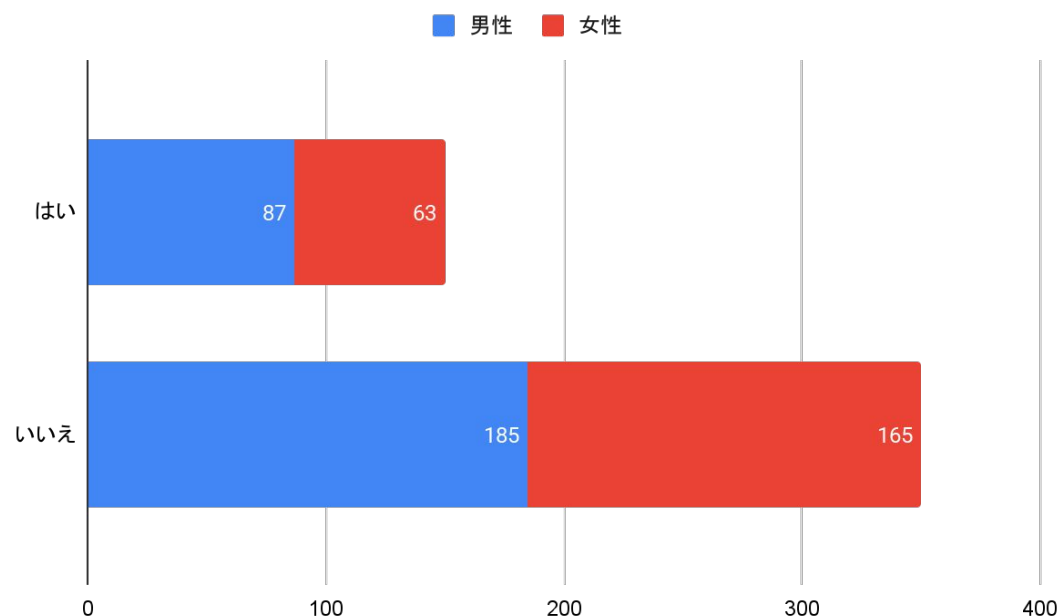
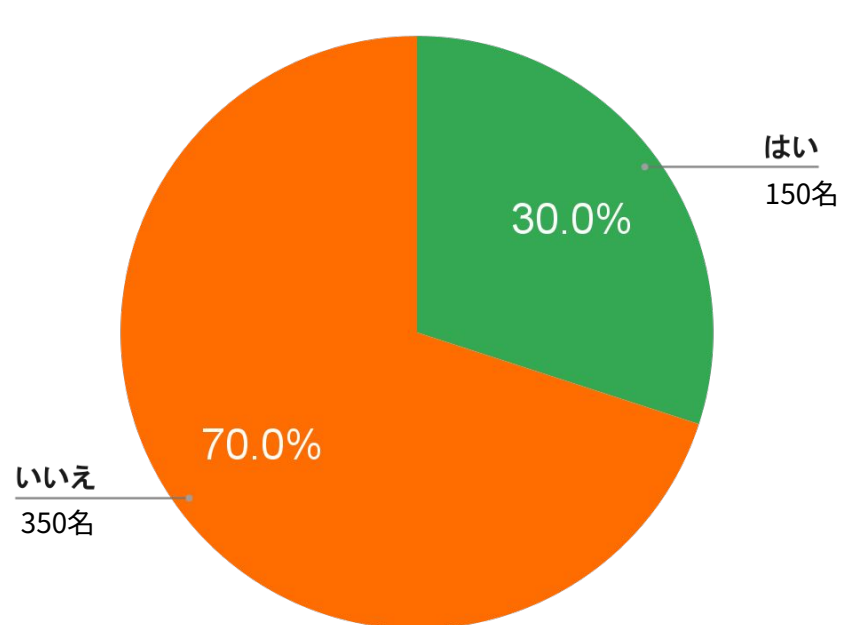
参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

該当者	はい	いいえ
312名	94.6%	5.4%

- 約9割の人が意思表示ができることについて知っている。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、「はい」の割合が94.6%→89.8%に減少。

問4 | 臓器提供をする・しないといった意思を記入していますか？

(単一回答／n=500)



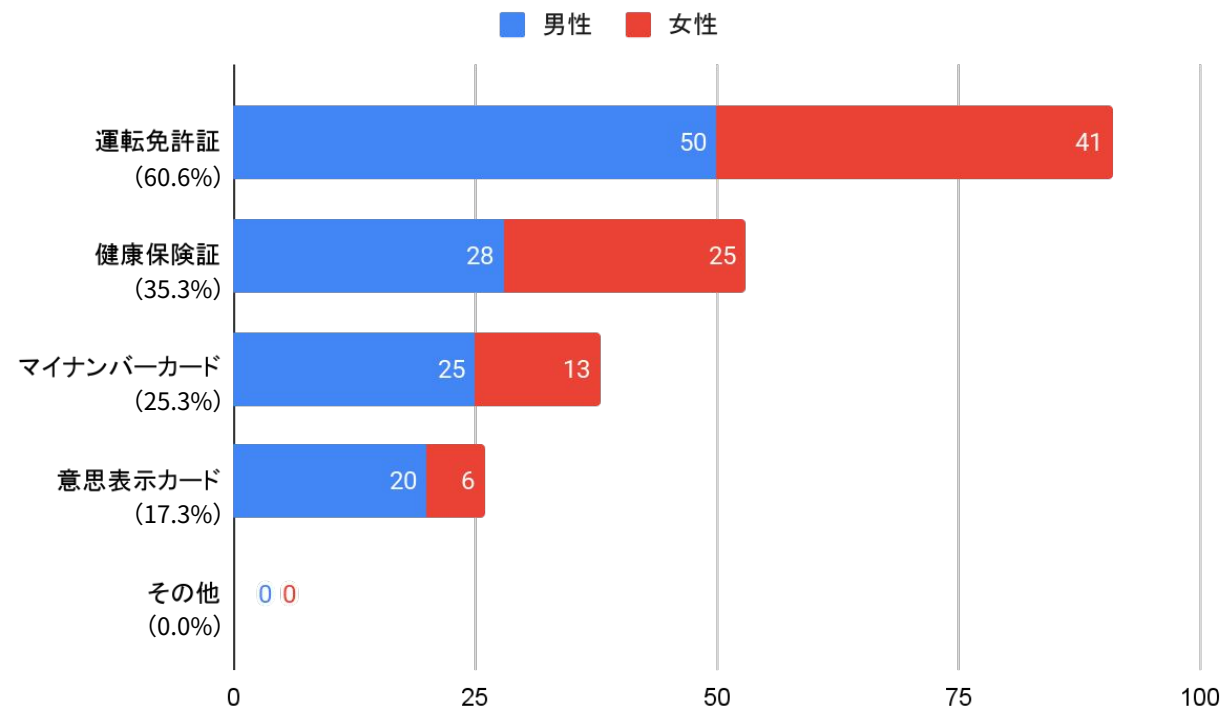
参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

該当者	はい	いいえ
295名	27.1%	79.9%

- 臓器提供をする・しないといった意思表示をしている人の割合は30%。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、「はい」の割合が27.1%→30.0%に増加。

問5 | 意思表示は何で示していますか？

(複数回答／n=150：Q4で「はい」と回答した人)



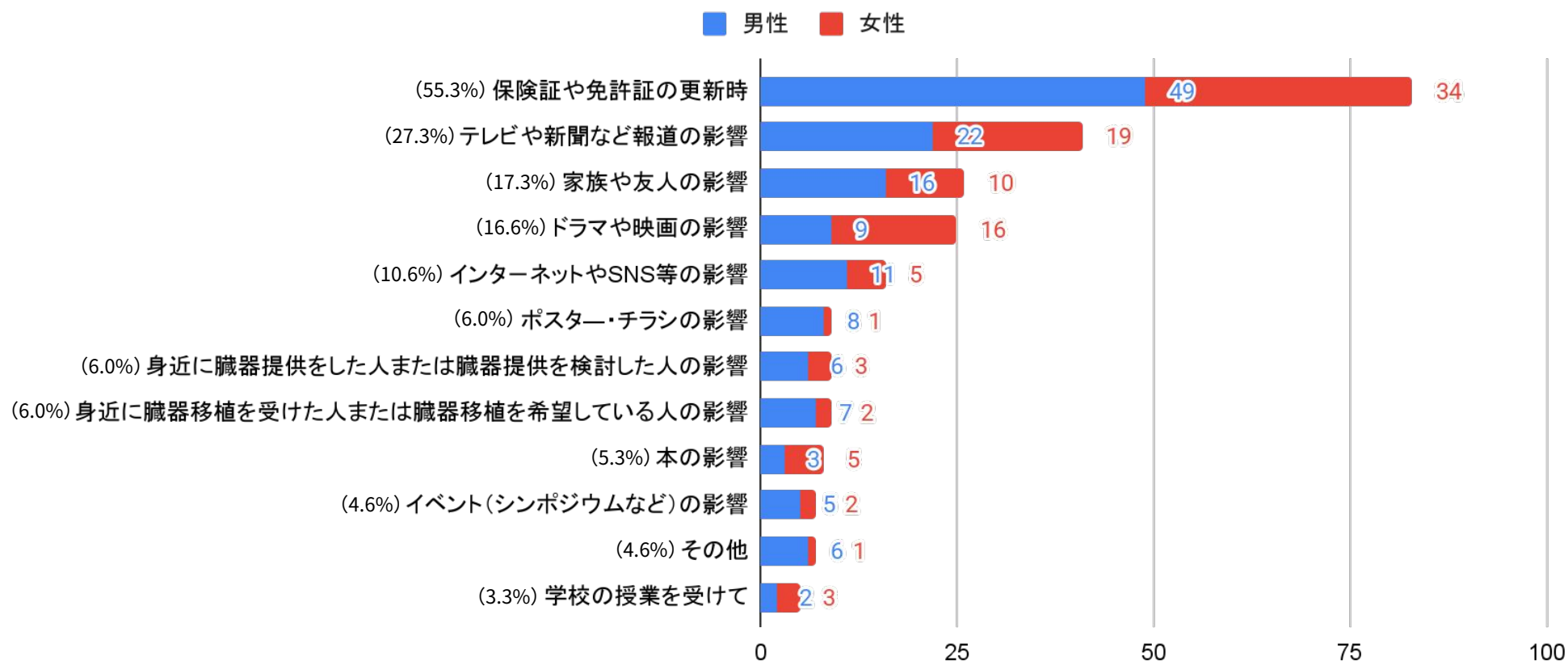
参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

該当者	保険証	運転免許証	マイナンバーカード	意思表示カード	その他
80名	46.3%	42.5%	6.3%	17.5%	6.3%

- 運転免許証や健康保険証で意思表示を示している人が最も多い。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、マイナンバーカードの普及（6.3%→25.0%）が目立つ。

問6 | 意思表示をしたきっかけを教えてください

(複数回答／n=150：Q4で「はい」と回答した人)



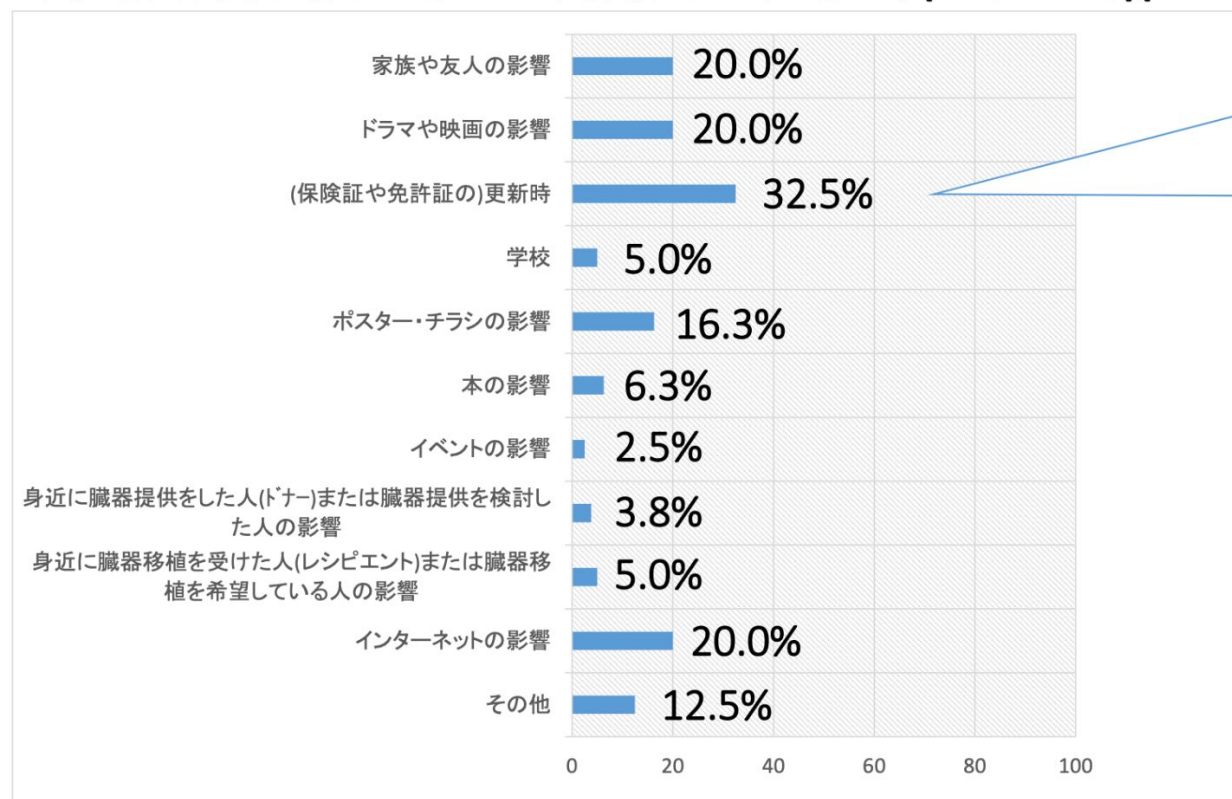
- 意思表示をしたきっかけは、保険証や免許証の更新時であることが顕著。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、保険証や免許証の更新時の割合が高くなっている。

問6 | 令和2年度 調査報告 比較

(n=80)

参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

問6.意思表示をしたきっかけを教えてください。(いくつでも)(n=80)

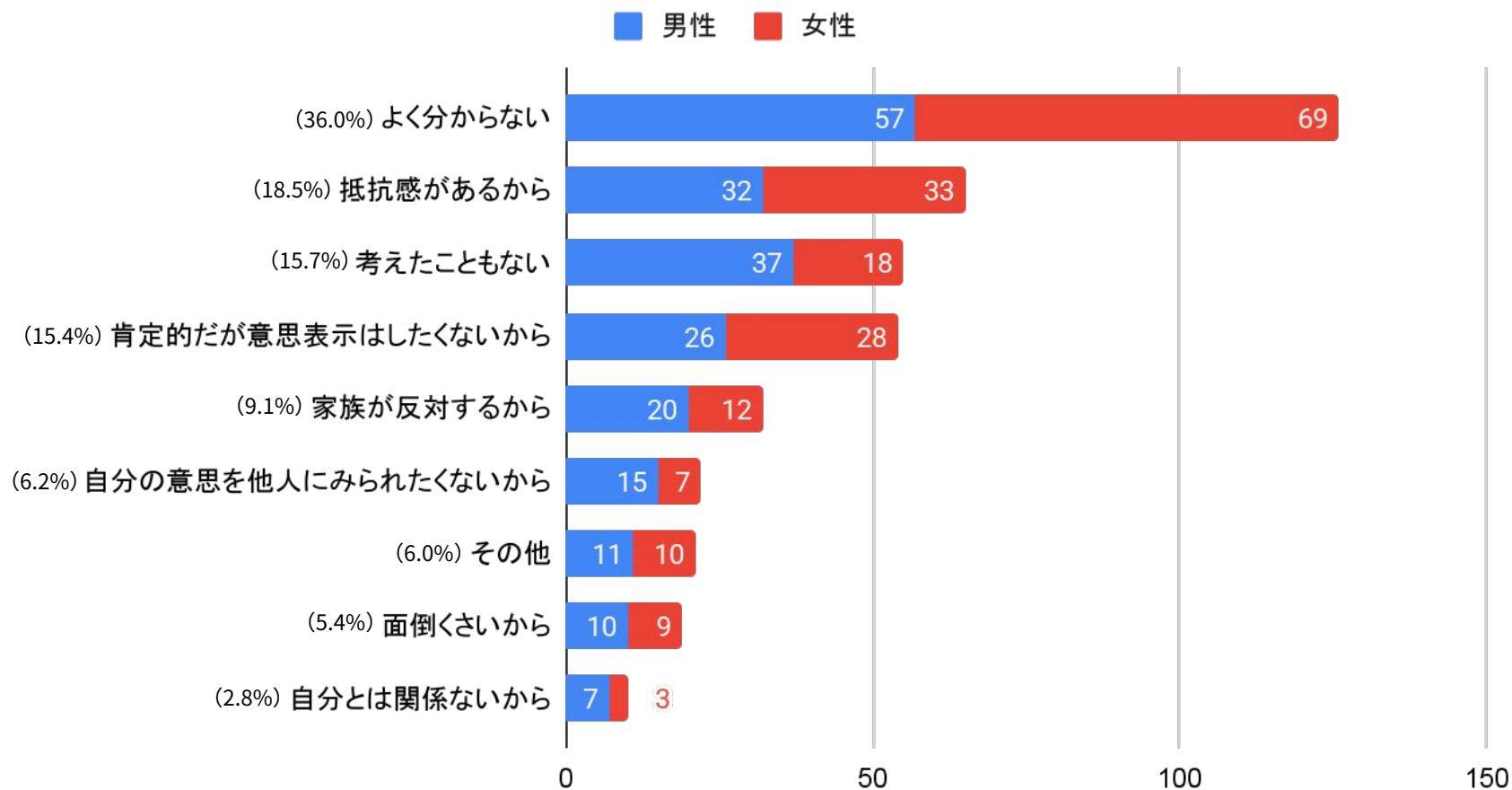


・もっとも多い結果となったのは、
保険証や免許証の
更新時(32.5%)



問7 | 意思表示をしていない理由を教えてください

(複数回答／n=350：Q4で「いいえ」と回答した人)



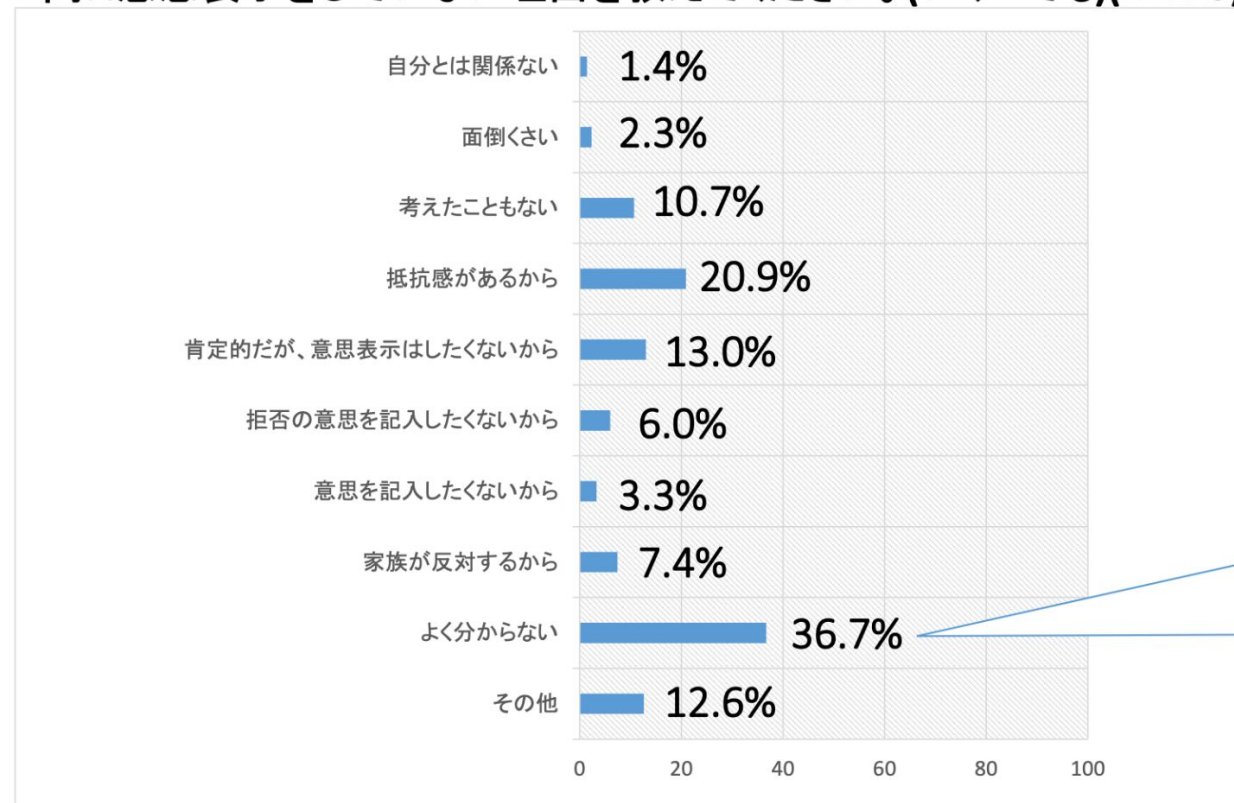
- 意思表示をしていない理由の多くは「よくわからない」という結果に。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と大きく変わらない。

問7 | 令和2年度 調査報告 比較

(n=215)

参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

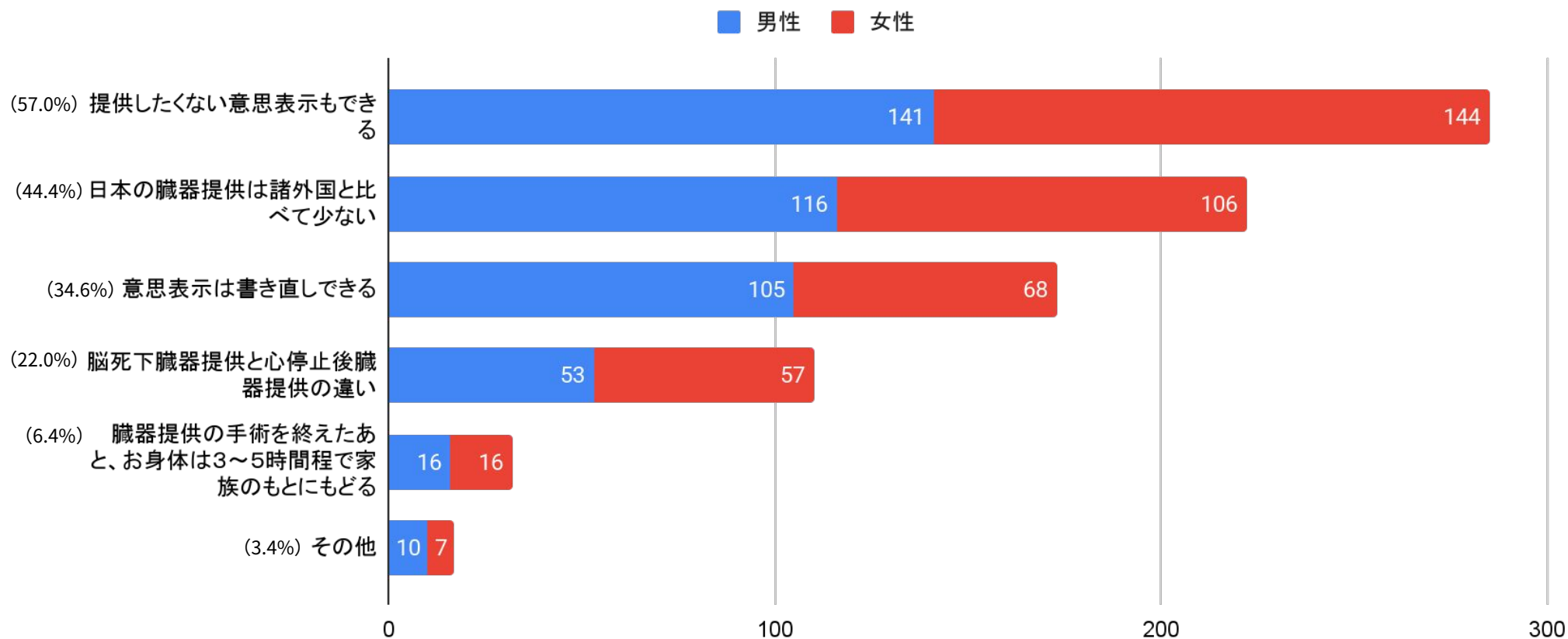
問7.意思表示をしていない理由を教えてください。(いくつでも)(n=215)



・よくわからない36.7%が一番多い結果となった。

問8 | 意思表示・臓器提供について知っていることは何ですか？

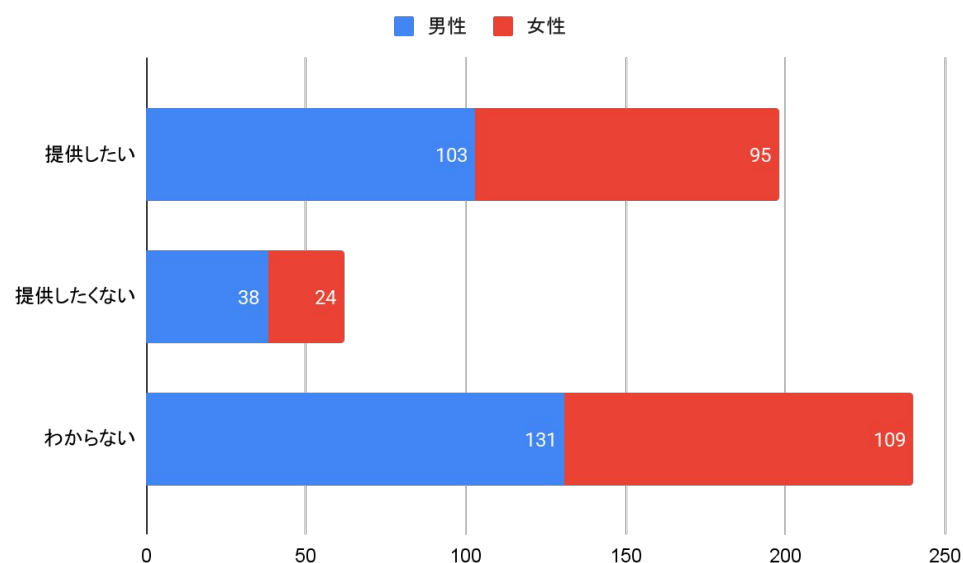
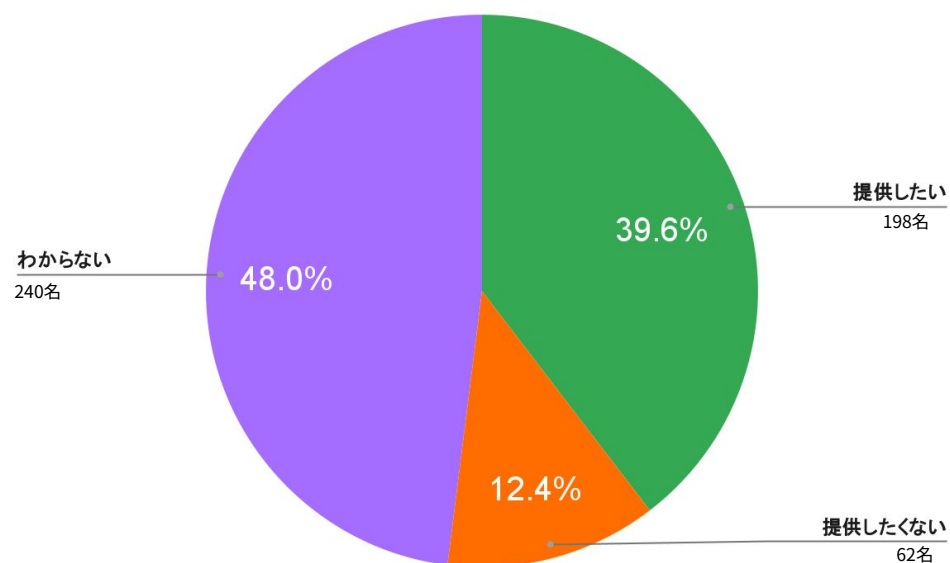
(複数回答／n=500)



意思表示・臓器提供について、「提供したくない意思表示もできる」ことを知っている人は285名で、半数（250名）を超えている。

問9 | あなたは、仮にご自分が救命不能と判断された場合に、臓器提供をしたいと思いますか？

(単一回答／n=500)



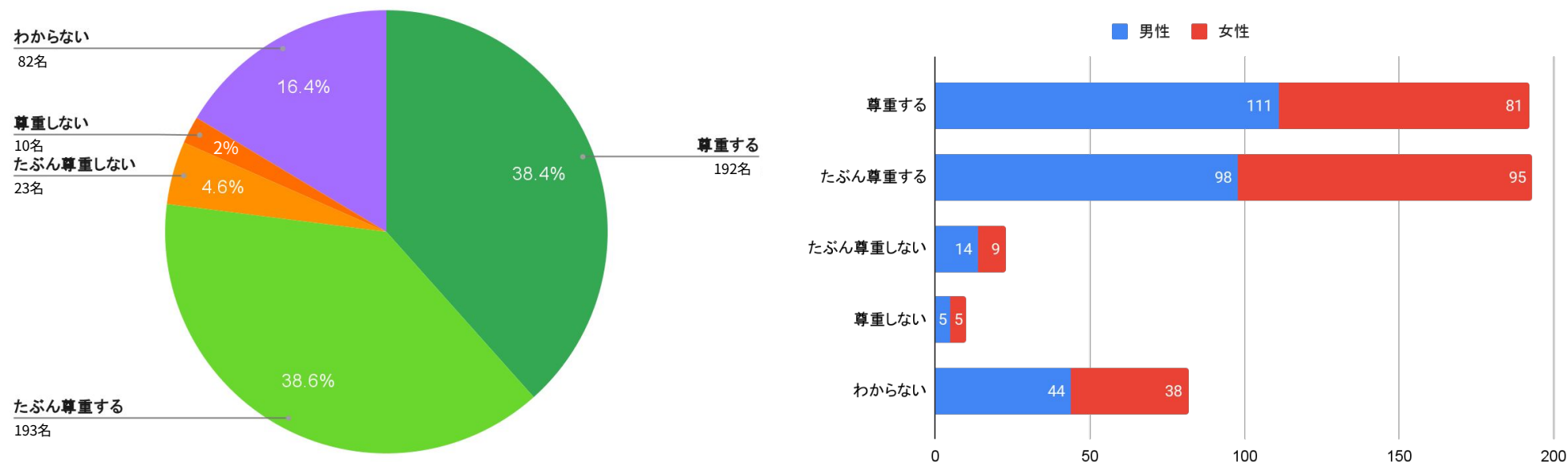
参考（以下表）：令和2年 臓器移植に関する意識調査

該当者	提供したい	提供したくない	わからない
312名	45.8%	9.9%	44.2%

- 「提供したい」が198名。
- 令和2年に実施した県内の意識調査と比較すると、「提供したい」が45.8%→39.6%に減少。

問10 | 仮に、あなたのご家族の誰かが救命不能と判断された場合に、その方が臓器提供の意思を表示していた場合、あなたはその意思を尊重しますか？

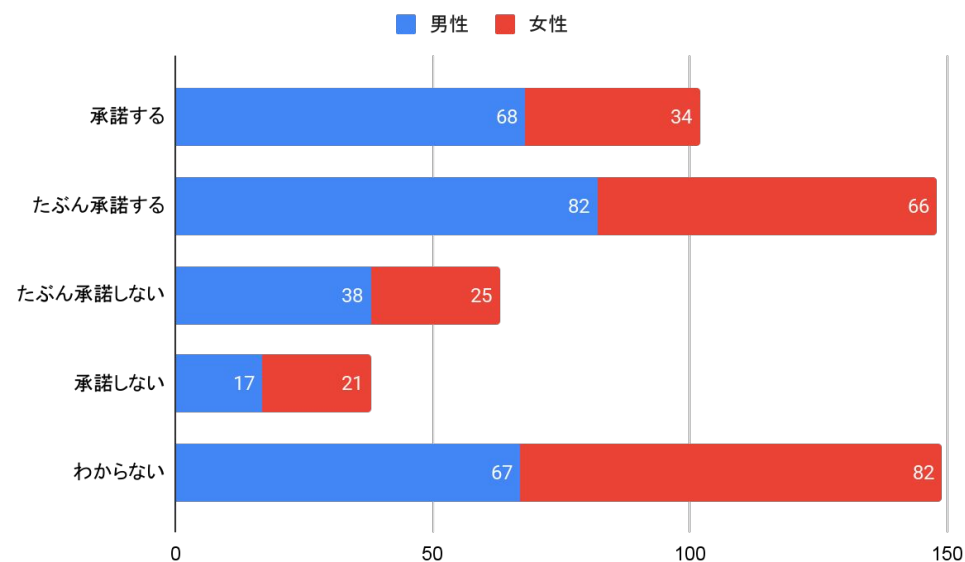
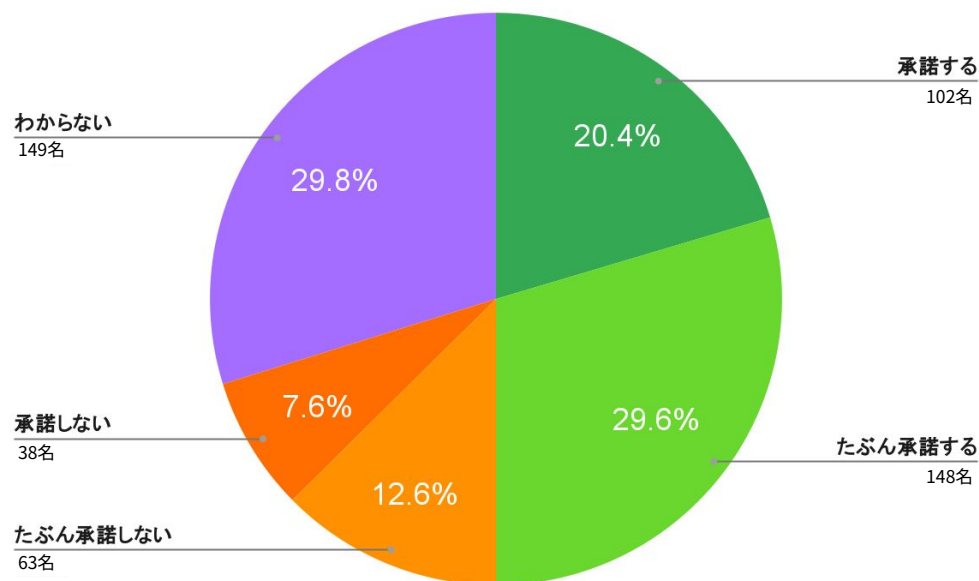
(単一回答／n=500)



- ご家族の誰かが意思表示をしている場合、その意思を尊重する人が（「たぶん尊重する」を含め）385名と半数以上。
- 令和2年に実施した県内の意識調査と比較すると、「尊重する」「たぶん尊重する」の割合が81.1%→77%に減少。

問11 | 仮に、あなたのご家族の誰かが救命不能と判断された場合に、その方が臓器提供について何も意思表示をしていなかった場合、臓器提供を承諾するかどうかはご家族の総意で決まります。あなたは、ご家族の臓器提供を承諾しますか？

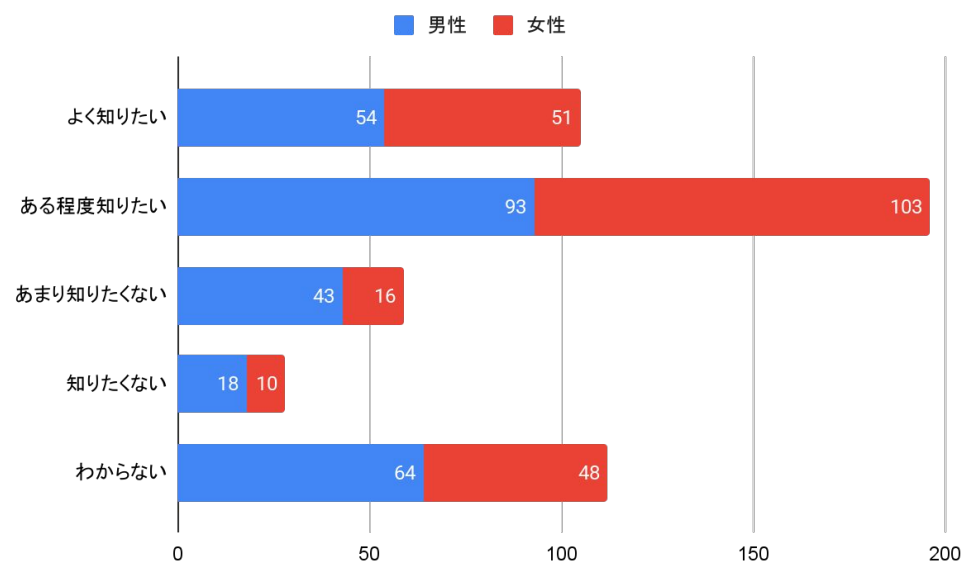
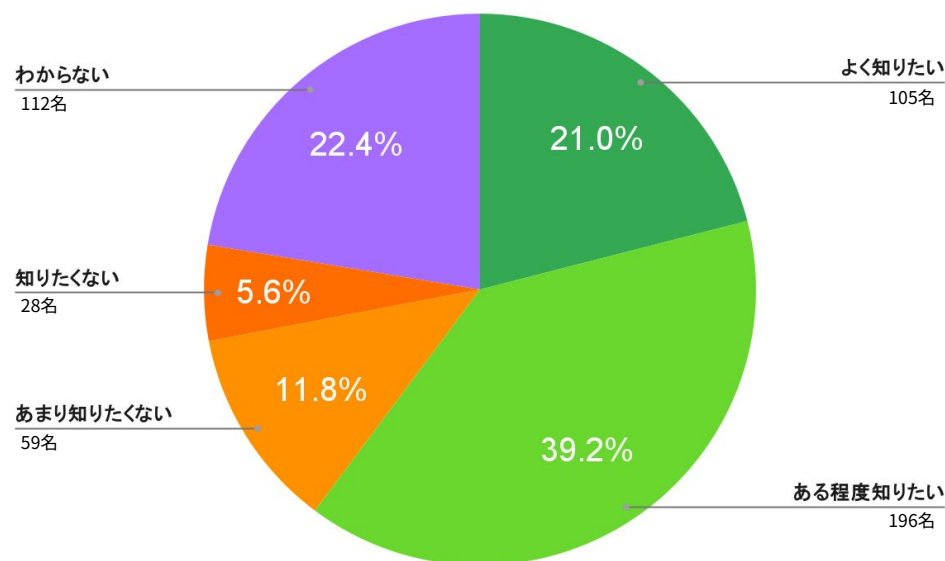
(単一回答／n=500)



- ご家族の誰かが意思表示をしていない場合、わからないが最も多い。
- 令和2年に実施した前回の意識調査と比較すると、「承諾する」「たぶん承諾する」の割合が42.3%→60%に増加。

問12 | 一部の病院では入院された患者家族に対して、臓器提供に関する情報提供がされています。あなたは、あなたご自身あるいはご家族の誰かが入院した際に臓器提供に関する情報を知りたいと思いますか？

(単一回答／n=500)



ご自身あるいはご家族の誰かが入院した際に臓器提供に関する情報をよく知りたい・ある程度知りたいと思っている人は301名で、60.2%である。